

令和4年5月

no.
100

よめばやさしくなる
しゃきょうの
こうほうし



福祉くまの

令和4年度事業計画



熊野市社会福祉協議会の一部事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

令和4年度事業計画

変化する「当たり前」

に対応する組織に

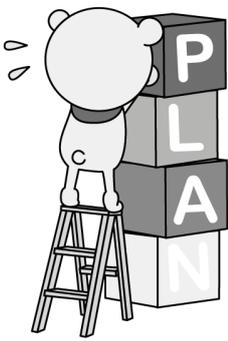
の2年にわたる世界規模での感
染症の流行により、社会情勢が

大きく揺れ動き、私たちの住む日本において、かつてない影響から、社会の仕組みが少しずつ変容し続けています。この変化は容易に受け入れ難い場面もありますが、先が見えない中では、気持ちを前向きに、受け入れるべきものを受け入れ前に進むことも、大切であると感じます。熊野市社会福祉協議会においても、当たり前であったことが、当たり前でなくなったことを痛感しています。だからこそ、この当たり前と思うこと自体がもう「数あるひとつの考え方」であると認識を改めなければならぬ時期なのだと思います。新たな年度も、まずは利用して頂いている皆様の安全を最優先に考え、その上で変化を恐れず、役職員一同心を合わせ、あらゆる困難に正面から向き合い、積極的に様々な活動を実践します。

働きやすい職場づくり

国

内の多くの業種で人材不足が深刻化しています。少子高齢化に伴って高齢者の数は増加するものの、2035年には介護分野での人材不足は79万人にも達するとされています。当地域においても、人材確保は喫緊の課題であり、福祉業界においては、介護等の現場を担う人材はもちろんのこと、企画力やマネジメント力など総合的な資質をもつ人材や、高い専門性を有する人材など、広く福祉を担う人材の確保が急務です。また、人材を確保、定着させるためには処遇改善は欠かせません。経費削減や業務の効率化を図りながら、安定した経営を行い、職員の処遇、福利厚生を充実させ、人材の確保につながるような、働きやすい職場をつくります。



一人ひとりの困りごとを

解決できる地域づくり

感

染症拡大の影響で、住民同士が会う機会が減ったため、地域の困りごとが見えづらくなり、発見や対応が遅れて深刻化するリスクが高まっています。こんなときこそ、地区社協や民生委員はじめ、関係団体等それぞれがおこなう地域活動と連携し、ネットワーク組織の要として住民や団体をしっかりとつないでいく必要があります。身近な地域の困りごとを関係者間で共有し、制度による支援や住民同士の支え合いにつなぐことができる(課題への対応と解決を視野にいれた)ネットワーク活動と、時代に合った新しい『つながり』の形を検討し実践します。

- ①見守り活動の強化とネットワークを活かした対応と解決
- ②困りごとを抱える子育て世帯等への支援強化
- ③広域的な事業活動の連携・協働の推進

地域で取り組み

量の確保

法

改正により義務付けられた、虐待や非常災害対策、BCPなどへの取り組みを徹底しつつ、接遇や介護技術の研修など、職員の質を向上させる取り組みをさらに充実させ、皆様に安心、喜ばれるサービス提供に努めます。しかし、一方では介護人材の減少が進んでおり「質」に伴う「量」の確保が年々困難になっていきます。法人としては数年前から様々な対策を行ってきました。しかし、人材不足はこの地域の大きな課題であります。今後は先に述べた処遇の改善と併せて、法人のみならず、広域連合や地域の事業所との連携により、地域での課題解決に取り組めます。

※BCPとは・・・感染症や大規模災害などが発生すると、通常通りに業務を実施することが困難になります。まず、業務を中断させないよう準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方針、体制、手順等を示した計画のことです。(Business Continuity Planの略)

おたんじょうびおめでとうございませう！

満百歳記念事業



2/16

後呂いと江さん (金山町)
大正11年2月11日生まれ



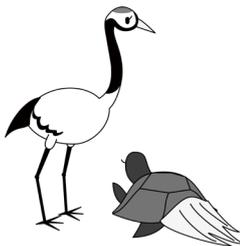
畑 作業が大好きで去年まで落花生を栽培し、家族や親戚に振舞っていたとのこと。一番うれしいことは、子どもや孫が元気でいてくれることだそうです。

2/21

松下とり子さん (飛鳥町)
大正11年2月21日生まれ



少 し前まで、友人の家まで坂道を歩いておしゃべりをして行ったり、カラオケをしていたそうです。今でもよく歩くこととしっかり睡眠をとること、朗らかにいることが長寿の秘訣だそうです。



3/3

笠松ユキ子さん (木本町)
大正11年3月3日生まれ



好 き嫌いなく何でもよく食べ、現在も朝昼晩しっかり食べることが、長寿の秘訣だそうです。人と話すことが好きで明るく優しいお人柄が伺えました。

3/24

瀬田千代さん (井戸町)
大正11年3月19日生まれ



趣 味はパッチワークとのことでしたが、なんと90歳からバッグ作りを始めたそうです。器用な手先とともに、いつまでも衰えないチャレンジ精神に、驚かされました。

3/29

九鬼八千枝さん (有馬町)
大正11年3月28日生まれ



息 子さんやお嫁さんのお世話に対して「幸せ」と繰り返しおっしゃっていました。家族の優しさが、本人の長寿に大きくつながっているのだと、強く感じました。

学習端末購入費用を助成します！

立高校において、令和4年度の入学生から、生徒一人につき一台の学習端末の購入が義務化されました。熊野市社会福祉協議会では、学習端末購入に係る費用を支援するため、県立高等学校入学時に、経済的理由で購入が出来ない世帯に対し、購入費用を助成します。助成の条件として、

- ①保護者等が熊野市在住者
 - ②中学校3年時において熊野市就学援助費を交付されている世帯
 - ③高等学校からの学習端末貸与が受けられない世帯
- の全てを満たす世帯が対象です。お気軽にお問い合わせください。



ボランティアセンターからのお知らせ♥ボランティアセンターからのお知らせ◆ボランティアセンターからのお知らせ♣ボランティアセンターからのお知らせ

福島ひまわり里親プロジェクト

に参加してみませんか？



福島ひまわり里親プロジェクト「ふくひま」とは？

東 日本大震災の原発事故による風評被害で、福島県は観光業や農産物の流通に、大きな打撃を受けました。障がい者の方が働く福祉施設でも、仕事が激減。仕事がなくなったことで、多くの人が生活に困ることに

なりました。福島ひまわり里親プロジェクトは、全国の人々が里親となって福島のひまわりを育て、採れた種をまた福島に送ることで福島県の雇用創出、絆づくり、防災教育につなげる取り組みです。(詳細はQRコードを参照ください) 参加は無料ですので、個人やご家族、グループなど、たくさんの参加をお待ちしております。



くわしくはコチラ↓

ボランティアのことなら

3 熊野市ボランティアセンター

☎ 519-4324 熊野市井戸町 1150 番地 でんわ：0597-89-5000 F A X：0597-89-3068

LINE
きせかえ
よろしく♡



無料法律相談

- ◆開設日 5月17日(火)
6月14日(火)
- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
- ◆会場 保健福祉センター
- ◆時間 13時から(一人15分)
- ◆相談内容 民事全般
(相続、離婚、雇用、他)
- ◆予約 約前日の15時まで
- ◆担当 地域福祉係 伴(ばん)



リサイクル情報

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲ってほしい」という品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。

リサイクルに関する情報は、
①熊野市保健福祉センター掲示板
②ホームページのリサイクルのページ
でどうぞ。

◆担当 地域福祉係 都竹(つづく)



コチラから



赤い羽根共同募金 令和3年度配分実績報告

令和2年度中に、みなさまにご協力頂きました募金については、令和3年度に熊野市社会福祉協議会とくまの子学童クラブに配分され、次の通り、地域の福祉活動に活用されました。皆様の温かいご協力、誠にありがとうございました。

熊野市社会福祉協議会 1,099,884 円

- 団体助成 240,000 円 福祉団体、小中学校の活動支援(ランドセル助成、福祉団体助成、小中学校支援配分)
 - なんでも講座 209,884 円 各地域で福祉講座を開催
 - ふれあいサロン助成 410,000 円 集まる場づくり
 - ふれあいフェスタ 240,000 円※
- ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和4年度に繰り越し活用させていただきます。

くまの子学童クラブ 185,000 円

- 放課後児童健全育成事業
水遊び、海岸掃除、田植え等体験活動費として活用

赤い羽根共同募金 ありがとうございます

鹿中学校生徒会の皆さんが中心となり、募金活動に取り組み、赤い羽根共同募金の学校募金にご協力頂きました。本当にありがとうございます。



くまちがいさがし

今回は記念すべき100号ということで、またまたレアなプレゼントです。その名も「なんとなくしかんがわかるくまちゃんのとけい」です。何かと世知辛い世の中ですが、たまにはこの時計で、なんとなく過ごしてみたいかがでしょうか。しかも今回は、5名の方にプレゼント！ドシドシ応募ください！くまちがい箇所はいつも通り8つ！いざ！！



↑コレです。素人の手づくりの為、出来の悪さはご容赦を。



- ①はがきに文字で答えを書いて送る
 - ②この絵に記入して、はがきに貼って送る
 - ③この絵に記入して、写真を撮って「おてがみ」から送信する
- はがき ☎ 519-4324 熊野市井戸町1150 番地熊野市社会福祉協議会くまちゃん宛
「おてがみ」 ☎ 熊野市社協 HP 「おてがみ」から。
☞ 右下 QR が便利！ ☜

福祉くまの、くまちゃんの感想もかいてね♥
令和4年5月27日(金)まで



竹本結翔さん
西稀妃さん
松田洋子さん
おめでとうございました！
前回の当選者

あともがき

前回の福祉くまのについて(特集記事)「字が小さく、また背景の画像が邪魔で非常に読みにくい」とのご意見を頂戴しました。サブタイトルの「よめばやさしくなるしやきょうのうらな」と、まさにに逆行しておりましたこと、深く反省しお詫び申し上げます。▼この福祉くまのも合併から100号を迎えました。気持ちも新たに、失敗を活かしながら、楽しい紙面づくりに、今まで以上にがんばります。▼どうぞこれからもご愛読賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。(あきひと)

居宅介護支援係 ケアマネジャー 渡邊りえ



まだまだ未熟者ですが、少しでも皆様の力になれるよう、頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

障がい支援係 あゆみ事業所生活支援員 松本嘉子



あゆみ事業所で働かせてもらうことになりました。初めての仕事ですが、早く仕事に慣れるように頑張ります。

井戸訪問介護係 サービス提供責任者 若山幸恵



サービス提供責任者として就任させて頂きました。初めての分野での仕事で分からない事もありますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

